

ムラケン通信

2014. 3月 発行 Vo1-119

2月のムラケンのデキゴト。



2月28日に第29期の
事業計画発表会を行いました。



2月28日は村上会長夫妻の43回目の
結婚記念日。富士屋会館様からプレゼントのお花。



鯖江市主催の日野川で行われた
サケ稚魚放流体験学習会。



少しずつ春が近づいてきました。
桜草のつぼみ。



発表会にてあいさつをする
宇野社長。



個人の目標を発表する水野。



卵から孵化したサケの稚魚。
元気に泳いでいますね☆



雪が少なかったから?
チューリップの芽が出ました。



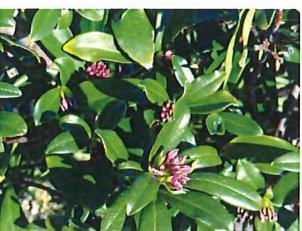
発表会には来賓を迎えて
意見をいただきます。



仙台からいらっしゃった郷家会長。
被災地の状況を語ってくれました。



たくさんの稚魚。
約2万匹も孵化したそうです。



沈丁花のつぼみも
つきはじめました。



発表会の後は新年会。
話に花が咲き楽しい時間が過ぎます。



草むしり.com 福井の
村上直也さんの発表も。



大きくなって、帰ってきてね!
3~4年後に戻ってくるそうです。



すりばちやいと。
今年も健康でいれますように。



第17回目の2月のトイレ掃除。
寒くても! やります!!!



MKD、2回目はワークショップ。
宇野社長が講師を務めます。



村上会長より
仮面ライダーガイムのケーキ
を頂きました。



新しい期が始まりました。

第29期も
がんばっていきます☆



プロの技・リフォーム設計力
ムラケン
Renovation Professional skill

第二創業第五期

新社名ムラケンとして早五年目を迎えました。

スタッフがいきいきと仕事が出来、自分の生きがいを仕事に見いだせる会社にする、そして家族のような会社作りを目指す、その事を第二創業の基本方針として進めてきました。

二年前の事業計画の挨拶の中で、会社が家族のような姿に近づいていくと、お客様との関係も変わっていき、そこはお客様の付き合い方が単に仕事を通しての関係という事だけでなく、家族の様なお付き合いへと変わっていくような、次の局面を迎えると発表させていただきました。それから私たちはお客様と良好な関係づくりを目指してきましたが、その中でスタッフ、協力会社の皆さん、そしてお客様とが家族の様な関係になり、その事が地域の中で大きな輪になっていける、そのような姿を目指すことが、私たちの思いだと確信してきたのです。家族の様な関係づくりは年を重ねるごとに多くの家族を生み出していく、ゆくゆくは地域の皆さんと心に残るような大家族を作り上げていく、その事を私たちムラケンは『大家族主義』として宣言し、これから私達の大きなビジョンとして取り組んでいきます。

昨年の現状と方向性

お客様との家族の様な関係づくりは、昨年も方針として取り組んでまいりました。

た。その結果今年も受注の状況は、ほとんどがリピートのお客様と、知人、友人からの紹介から成り立つ状況となりました。その事は顧客訪問や、ニュースレターの発行を続いている成果と考えられます。また仕事を頂いたらその事に一生懸命に打ち込む、その事はお客様に感動を呼び、私のもとに担当者のきめの細かい気遣いに感動したとお客様からわざわざ電話も頂いています。

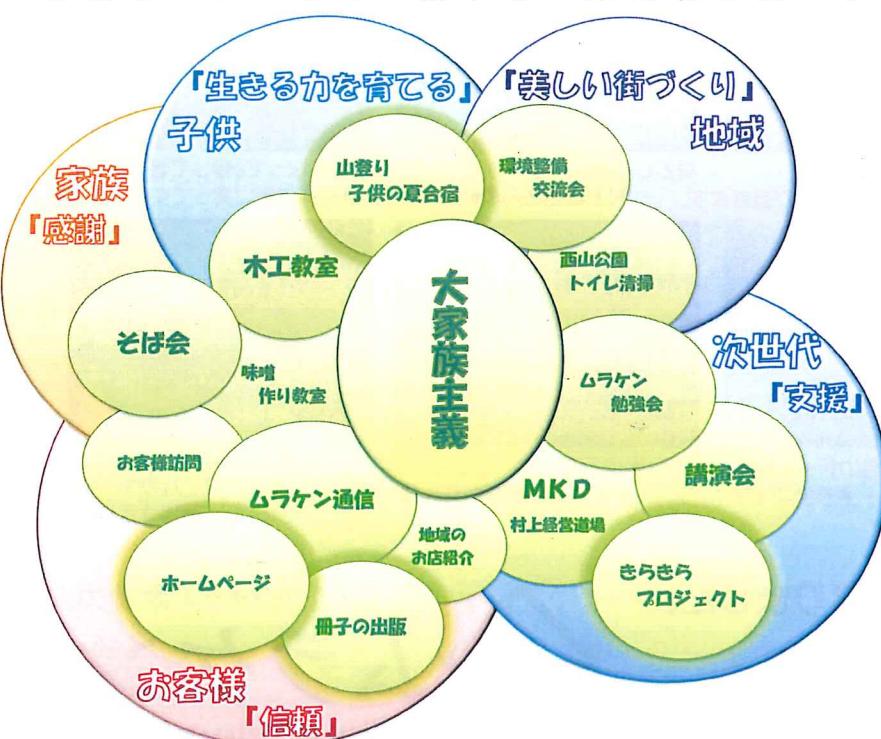
また特に「ムラケン通信」は大きな成果を生み出しています。ここ何年も工事の依頼がなかつたお客様から、電話を頂きました。いつも通信を送つてもらつていたので連絡してみようと思ったということでした。またある方は、私の知人でご兄弟から改装工事の相談があつた時いつも通信を送つてもらつていたので、迷わず当社の事を紹介しましたとのことで、またいつも通信を配布するとすぐに工事の依頼の電話が頂けることがよくあります。通信はこれからもお客様と私達と結びつけるものとして更なる充実と配布拡大を図っていきます。また通信の内容を原稿ごとに冊子として印刷し、お客様との関係を深める物に活用していきます。

顧客名簿ソフトの活用は、今までのデーターは打ち込みが終了し、現在そのお客様の情報検索を始め、活用の範囲を広めています。これからお客様情報の共有化を図るなど、顧客訪問など情報発信の場に役立てていきます。

お客様に役立つリフォーム会社として、スキルアップ・技術を磨く取り組みでは、ホームページの作成が完了し、建築プロデュースを使って「あなただけの住まいを創ります」と宣言しています。またいつでもネット上でムラケン通信が見られるようになりました。そこで行事などのお知らせも発信しているのですが、施工事例集など、まだまだ不十分ですが、今後はホームページの中にそれぞれ担当者のブログを盛り込んで、見る人に身近さ、暖かさを感じ取つてもらえるように変えていきます。

スキルアップ勉強会はその事を通じて得られた技術を実際にお客様へのプレゼンに使用するなど実戦での成果を上げつつありますが、お客様の要望に応えるにはまだまだスピーディーが足らず、更なる技術を高めています。

お客様の思いを叶える住まいづくりをするには、より良い手法と更なる技術力のアップが求められ、もっともつとスピードアップすることに心掛け、お客様の要望に応えていきます。



ムラケン『大家族主義』宣言

宇野義壽

私達が行つてきた理念活動は先程述べた大家族主義に通じるもので、環境整備は社内から現場へと、またムラケン勉強会とその実践を積み重ねて行きます。そして様々なイベントは、その思いをつうじてお客様との関係を深めていくよう取り組んでいきます。

お客様に役立つリフォーム会社として、スキルアップ・技術を磨く取り組みでは、ホームページの作成が完了し、建築プロデュースを使って「あなただけの住まいを創ります」と宣言しています。またいつでもネット上でムラケン通信が見られるようになりました。そこで行事などのお知らせも発信しているのですが、施工事例集など、まだまだ不十分ですが、今後はホームページの中にそれぞれ担当者のブログを盛り込んで、見る人に身近さ、暖かさを感じ取つてもらえるように変えていきます。

スキルアップ勉強会はその事を通じて得られた技術を実際にお客様へのプレゼンに使用するなど実戦での成果を上げつつありますが、お客様の要望に応えるにはまだまだスピーディーが足らず、更なる技術を高めています。

お客様の思いを叶える住まいづくりをするには、より良い手法と更なる技術力のアップが求められ、もっともつとスピードアップすることに心掛け、お客様の要望に応えていきます。



プロの技 リフォーム設計力!

建築プロデューサー
宇野義壽



暮らし。変わる。リノベーション。～耐震・改修工事へ



改修前の玄関。
階段があるので窮屈に感じられました。



新しく掛けられた階段。
ゆるやかで登りやすくなっています。



床下の土間コンクリート打ち。
立上りの鉄筋も見えています。



改修前の仏間の天井。
天井はそのままの仕様です。



床は新しく断熱材を
敷き詰めました。



改修した台所・食堂。
無垢材の床と新しいSK。



新しく施した耐力壁が
安心の空間を造っています。



改修中の様子。
新しい耐力壁、土台、土間コン、基礎。

階段を取り外すことで広い玄関になりました。壁には珪藻土を塗り、床と腰板には桧の板を使用しました。格子の出入口の引き戸が格調高く感じられます。



私が伺った時にはそこまで決まっていたのですが、どこまで工事を行うか予算的な事もあり、検討でした。そこで今年は特別枠で耐震工事の補助金が多く出ていたので、それを最大限利用する事、その為に一階の耐震補強を構造評点1.0倍以上にする（震度六強に耐える構造）、そして二階は居室としては使

古民家にお住いのお客様は、先祖からの受け継いだ建物を改修すべきか、それとも壊して新しく建て直すべきか迷われます。新しい住宅は、便利さは追求出来ますし、断熱性能を求める快適な生活を送ることもできます。しかし今の建物を壊してしまったら、二度と同じものは出来ません。古民家の場合、木材が吟味されていることが多いものです。たいてい主な柱は檜材が使われています。（昔は後々の家づくりの為に、庭あるいは山に櫻の木を植えたものでした。）また大きな梁も使われており、私達の地方では漆が塗られていましたが、要所は檜材が使われておらず、立派なものでした。このお宅もそうでした。築七十年を過ぎておいました。一階の天井も二階の腰梁、床板がそのまま天井材として使われており、立派なものでした。このお宅でも壊して新しく建て直すこととを検討されたようでしたが、結論としては今の建物を丈夫にして、そして出来る限りの利便性を求める事にしました。

私が伺った時にはそこまで決まっていたのですが、どこまで工事を行うか予算的な事もあり、検討でした。そこで今年は特別枠で耐震工事の補助金が多く出ていたので、それを最大限利用する事、その為に一階の耐震補強を構造評点1.0倍以上にする（震度六強に耐える構造）、そして二階は居室としては使

多くのお金を掛ける事への勇気もお客様はあつたと思われますが、今回の中止工事で、今までの思い出を守られた事と共に大きな安心を得られました。

用しないので最低数値の確保として構造評点0.7倍以上に押さえました。また床が全体的にふわついていた為、床材すべてをめくつて張り替え、その時、基礎を補強するため床下に土間コンクリートを打ち、立ち上がりの基礎も施し土台を入れ、床と基礎とを連結することにしました。また耐震工事と共に若干間取りの変更も行いました。今まで玄関に入つてすぐに階段があり、狭くとても窮屈な感じで、勾配も急になつていました。そこで玄関から階段を外し、別な今まで座敷隣の三畳和室として使つていた部屋に新たに階段を掛けるようにしました。またこれから的事を考えて畳の間をいす式の床張りの間に変えました。そして最後に水回りは間取りの変更を含めて全面改修しました。とても大掛かりの工事となりましたが、これでこれから長く使っても支障ありません。

2月(1/21～2/28)完成のお客様

ありがとうございました!!

鯖江市新横江大西様 温水器安全弁取替工事
 鯖江市舟津町舟津神社様 プレハブ解体工事
 鯖江市舟津町葛野様 シャッターリモコン交換工事
 鯖江市上鯖江福嶋様 修繕工事
 鯖江市河和田町錦吉里様 ブラインド修理工事
 鯖江市旭町谷澤様 改修工事
 鯖江市東鯖江長田化成様 内装工事
 鯖江市桜町高棹様 給湯器取替工事
 鯖江市平井町山田様 雨樋修繕工事
 越前市国高しみずクリニック様 トイレ手摺取付工事



■内窓取付工事

寒さ対策に内窓の取付工事をさせて頂きました。



■簾取付工事

取り付けてあった簾が傷んできたので取替工事をしました。



■手摺取付工事

トイレの壁に手摺を取り付けました。



■廊下床張り工事

床の張り替え工事をさせて頂きました。

★結婚、出産、子供が大きくなった、子供が結婚、子供が独立し夫婦2人になったなど、月日が経つにつれ生活スタイルは変わっていくものですね。暮らしが変わる、それに合わせてリフォームしてみませんか？より快適な空間をご提案します。お気軽にご相談ください。

★お住まいのお困りごとはムラケンへ★
 (修繕・修理、何でもご相談下さい)

★お住まいのワンポイントアドバイス★

～サンルーム、物干しスペースについて～



室内に設けた物干しスペース



室内干しの器具もいろいろ。写真上は昇降式の物干し。使わないときは天井に納めておけます。写真下はスポット型の物干し道具。雨天時など必要な時だけ取り付けることも可能です。シンプルでいいですよ。

みなさんのお住まいには「洗濯干し場」はありますか？。その洗濯を干すスペースに満足していますか？。「雨の日は困るよね」「花粉症で外に干せないの」「冬は物干し場が寒くて…」「洗濯干し場が狭くて…」など色々な悩みがあるかと思います。今回はサンルーム、室内物干しについてご紹介しましょう。

■室内物干し

建物内に使っていないスペースがあればリフォームして洗濯干し場をつくるのもいいですね。洗面所近くに作れれば家事動線も良くなりますね。

■サンルーム・テラス囲いなど

室内を大改装するより手軽に施工できるサンルームも人気です。場所さえあればいろいろなタイプが設置可能。部分囲いで半分は外干しができるものも。物干し以外にもリビングの延長としての使用も可能ですね。



MKD活動報告



MKDの第9期がスタートしました。今回は4名の方が受講されています。受講される方の職種は毎回さまざままで、今回は会計士さん、塗装屋さん、会社の支店長と営業の方。

先日行われた2回目は「ワークショップ」。「会社の目的は何か」というテーマでそれぞれの思いをまとめています。普段このようなことを文字にすることはあまりないと思います。文字にすることで問題点を再確認したり、新たな「気づき」があります。意見を出し合い、最後にリーダーが発表します。

参加者の職種が違うことで、参考になる事があったり、お互いに良い影響を与えていけるのではないかでしょうか。

MKDはいつでも見学可能です。希望の方はお気軽にお問い合わせください。

MKDでは未来対応型経営塾・月1回の早朝実践道場・トイレ掃除なども行っています。2月からは第9期目の経営塾が始まっておりますご興味のある方、お気軽にお問い合わせください。

連絡先：090-2830-6389（MKD村上廣昭）

近藤さんの与欣コラム



～近藤さんの現場仕事～
日々仕事をしていると、いろいろな現場があります。「日曜大工はおてのもの」の近藤さん、この日はスタッフ水野と共に手摺取付の現場へ。

現場の養生から始まり作業の手元、それから後片付けで完了。細かな作業はたくさんあります。今回はタイル壁へ取り付けるため、下地の補強と手摺取付の手元をしました。

各工事現場では仕事を始める前の養生。そして完成した後の清掃。これがとても大事です。目には見えにくいのですが、工事に伴い細いホコリや木を削った粉がでます。完成した現場をきれいに掃除してお客様に引き渡すのですが、ここでも近藤さんに頑張ってもらってます。



月刊ミダ「サ・現場管理月記」

VOL. 50

あつという間に三月ですね。ホント今年の特に福井県の雪は少なくて驚きました。去年の冬もたいして降らなくて、ムラケンに来て初めて屋根の雪下ろしの依頼がありませんでした。今年はそれに加えて駐車場の除雪依頼もゼロでした。雪に備えてメンテナンスばかりのイヤシヨベルが、会社倉庫の裏でほんのちよっぴり寂しそうに見えました。

私に悪いクセというか、毎日ではないですがリビングで寝落ちしまうという…。こんな冬時期でもエアコンも蓄暖のタイマーも切れ、階段と吹抜けが繋がった広い空間のリビングで、しかも乳幼児用のちっちゃな掛け布団一枚で朝まで寝てしまう事があります。以前の住まいなら寒くて凍えながら夜中に目が覚めてしましました。これは一度保たれた快適な室内温度と湿度が長時間保持されているという事です。この通信でもよくアドバイスさせて頂いていますが、建物の熱の出入りは窓が大きく影響します。通常の窓ガラスだと夏は外の熱を七割くらい室内に入れてしまい、冬は逆に室内の熱を四割ほど外に逃がしてしまいます。夏はエアコンがよく効き、就寝時は窓を開けたりして我慢出来るのですが、冬は外気温の低下により暖房機器の能力が追いつかなかつたり、結露したり、窓の熱効率の悪さによく気付かれます。

そこで今回のテーマは『窓』。先の理由により夏場よりも冬・春にかけて工事依頼が多いです。いくら省エネの冷暖房機器を使っていても、室内的熱効率が悪ければ全体の省エネにはなりません。窓のリフォームは主にガ

ラス自体を変える事と、ガラスを増やす事の二つです。サッシごと複層ガラス用に交換も出来るのですが、かなり大がかりな工事になります。外壁の雨仕舞いも難しくなります。複層ガラスも内窓も考え方はガラスとガラスの間に空気（空間）を入れ、この空気が断熱するという発想です。ですから窓の改善時には安価で施工も早い内窓の工事をお勧めします。内窓だけで断熱性能や防音効果は上がりますし、室内窓側への結露もなくなりますが、それ以上の物を求めるのであればやはり複層ガラスです。複層ガラスだと更に防音、防犯効果の高いものや、断熱、遮熱、遮光に優れているものがあります。ガラスの性能を考慮した上で、改修する環境によって検討する必要がありますね。

近年、サッシ本体もガラス自体もとても高性能になってきています。節電や省エネ対策にはまず窓を見直し、改善する事が有効です。サッシの入替えは簡単なように見えて、意外と難しいのですが、色々提案させて頂きますので気軽に相談して下さい。



木製サッシからアルミサッシへ取替。

住宅完成内覧会

～職人の力が集結！光と風と、木のぬくもりと～



日時：平成26年3月21日（金・祝）

会場：鯖江市住吉町2丁目13-3

職人たちの手でひとつひとつ創り上げた住まい。ムラケンの家づくりをお気軽に見に来てくださいね。当日の福井新聞の折り込みをご覧ください。



『子供の病気・ケガ』



2月はミツキの誕生日。5才になりました。先日会社にて階段に登つていて、見て小さい頃の写真を思い出しました。まさに大きくなりまことに、同じの来るました。

そんな中、保育園に行けず、時間もあまっていたミツキ、家中では思いっきり体を動かすこともできないからか？食卓の上に登つて遊んでいて落ちてしまいました…。その瞬間を誰も見ていないなかつたのですが、大泣きするミツキ。腕を痛がり、まったく動かしません。腫れる様子もないのに翌朝病院に連れて行けばいいかなあと思ったのですが、念のため子ども救急医療相談室に電話。受診した方がいいとのことで、救急担当の日赤まで。レントゲンでは特に異常もなく、様子を見るごとに。家に帰ってきたのが夜中過ぎていました。翌日、仕事から帰宅して腕を見てみると腫れていたので、慌ててかかりつけの小児科へ。またまたレントゲン。結果折れてないので様子見ましようとのこと。湿布を貼り、数日腫れていたものの、痛みもなくなつたようです。あまりこういう機会がないので、ドッと疲れてしましました。

まず長男シュウトがインフレンザA型に。二月に入り次男ミツキがインフレンザB型に。数日後、長男がインフレンザB型。（熱が出た日を0日とし五日間休まなければいけません。そろそろ登校というころに学級閉鎖。ながい休みになってしましました）。シュウトはAもBも両方インフレンザを経験してしまいました…。

さて、我が家子供たちは健康で、あまり病院に行くことはありません。年に数回行くか行かないかぐらいなのですが、一月と二月はバタバタと病院へ行きました。

編集・発行



株式会社ムラケン 〒916-0056 鯖江市住吉町3丁目4-5 Tel.0778-52-6389

